

衆政会 会派視察報告

平成26年11月5日から7日にかけて  
会派視察を行った。

**沖縄県島尻郡八重瀬町**では、「介護付有料老人ホームかふう」を視察。本施設は大型病院を改装し、約300室を離島から来られる家族に無料で提供し、利用者がくつろげる空間を演出していた。

近隣の離島の皆さんの苦勞がわかるからこそ、より細やかなサービス提供ができるのだと感心させられた。

また、障がい者就労訓練も行われており、皆さんが明るい環境で仕事をされていたのが印象的であった。

**鹿児島県大島郡与論町**では、「多機能型事業所障害者ケアホームヨロン」を視察。ここでは、地域の中でより充実した生活を営むことができるようにそれぞれの特性やニーズに応じて安心して暮らせることを目的に活動されていた。



与論町



製塩作業の様子(与論町)

障がいをもった皆さんが天然塩「命泉塩」を、与論の伝統的な製塩法で再現し、昔ながらの美味しい塩に仕上げ全国に出荷していた。大変な苦勞のもとに経営され、何より努力工夫されていたことに感銘を受けた。

近未来21・翔春会・春風会  
会派視察報告

平成26年11月6日から7日の2日間、  
会派視察を行った。

**神奈川県横浜市**では公益財団法人横浜市体育協会の法人化に至った経緯や目的、市からの補助などについて視察を行った。

同協会は、(財)横浜市体育協会と(財)横浜市スポーツ振興事業団を統合し、市がすすめる「横浜市スポーツ推進計画」の担い手として、また、スポーツ振興に関わる外郭団体として市と連携しながら施設の管理運営を担っている。基本財産は1億2215万円、うち横浜市の出資額は7500万円である。



横浜市

**川崎市**では、かわさき資産マネジ  
メントプランについて視察を行った。公  
共建築物修繕費等の将来見通しから長  
寿命化を行い、予防保全により財政負  
担の縮減・平準化ができています。これ  
までの「建て替え中心の施設整備」か  
ら「長寿命化改善による再生整備」に  
手法を転換し、市営住宅の耐用年数を  
50年から70年程度にしている。

また、資産の有効活用 の例として消  
防署の上階にホテルを併設するなど多  
くのユニークな施策がなされていた。



川崎市

編集後記

今年の冬は例年になく寒い日が続き、全国的にインフルエンザが流行していますが、おわかりありませんでしょうか。

2月24日から3月定例会が始まりますが、私も議員にとりまして、今期最後の定例会となります。4年間の議員活動の集大成となるよう、市民の皆様の声をしっかりとしつかりと市政に届けるため、なお一層励む覚悟しております。

さて、4月の統一地方選挙では、これまでの議員活動に対して市民の皆様  
の厳正な審判を受けることとなります。  
そして、5月には、新しい議会報編

集特別委員会がスタートしますが、これまでと同様、分かりやすく、また、さらに親しみやすい紙面となるよう尽力してくれるものと期待します。

最後に、これまでの4年間、編集委員として「かすが市議会だより」の紙面改革ができましたのも、市民の皆様の激励のお言葉とご理解があつてのことと心から感謝いたします。

(まるとも)

議会報編集特別委員会

- |      |      |      |     |
|------|------|------|-----|
| 委員   | 委員   | 副委員長 | 委員長 |
| 高橋裕子 | 中原智昭 | 松尾徳晴 | 榊朋之 |